2026年 11月 4日

各 位

会　社　名　あすか製薬ホールディングス株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長 山口 惣大
（コード番号 4886 東証プライム）
問い合わせ先　グループ経営推進部長 市川 学
（TEL. 03-5484-8366）

甲状腺眼症治療薬「MHB018A」の導入に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社の子会社であるあすか製薬株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：山口惣大、以下「あすか製薬」）は、Minghui Pharmaceutical（Hangzhou）Limited（本社：中国・杭州、CEO：曹国庆（Guoqing Cao）、以下「Minghui 社」）と、甲状腺眼症（Thyroid Eye Disease：TED）治療薬「MHB018A（開発コード）」の導入に関するライセンス契約の締結について、本日開催の取締役会において決議しましたのでお知らせします。本契約により、あすか製薬は「MHB018A」の日本における独占的な開発権および販売権を取得します。

本契約には、Minghui 社が受領する契約一時金 110 百万米ドル（2026 年 10 月 26 日の中心相場 1 米ドル＝157.20 円換算で約 173 億円）のほか、開発の進捗や販売額に応じたマイルストーンおよび販売額に応じたロイヤルティが含まれています。なお、本契約のその他の詳細条件については非開示としています。

TED は、自己免疫性甲状腺疾患に関連して発症する希少疾患であり、眼球突出、複視、眼瞼腫脹、眼痛などの症状を呈します。重症化した場合には視力障害を引き起こすことがあり、患者さんの生活の質（QOL）を著しく低下させることが知られています。一方で、日本国内における治療選択肢は限られており、依然としてアンメットメディカルニーズの高い疾患の一つです。

「MHB018A」は、新規の皮下注射製剤のインスリン様成長因子 1 受容体（IGF-1R）を標的とするモノクローナル抗体であり、TED の病態形成に関与するシグナル伝達を抑制することで、眼球突出や複視、炎症症状などの改善が期待されています。

Minghui 社は、TED を対象に中国およびグローバルで第Ⅲ相臨床試験を実施中です。あすか製薬は日本における早期の承認取得および患者さんへの治療機会の提供を目指してまいります。

Minghui 社 CEO である Guoqing Cao 氏は、「日本は MHB018A にとって重要な市場であり、あすか製薬は内分泌領域における深い専門性に加え、臨床開発、薬事および販売に関する豊富な経験を有しています。本提携は、MHB018A を世界中の患者さんへ届けるための重要な一歩となります。今後、あすか製薬と緊密に連携し、日本における開発を推進するとともに、TED 患者さんのアンメット・メディカルニーズに応えていきます。」と述べています。

また、あすか製薬代表取締役社長の山口惣大は、「今回の提携は、あすか製薬が重点的に取り組む甲状腺領域およびスペシャリティ領域の強化ならびに製品ラインナップの拡充に資するものと考えています。TED は国内で治療選択肢が限られており、アンメットメディカルニーズの高い疾患です。Minghui 社との提携を通じて、日本の患者さんへ新たな治療の選択肢を一日も早くお届けできるよう、承認取得に向けた取り組みを推進してまいります。」と述べています。

当社グループは、長期ビジョン「ASKA VISION 2035」のもと、「中期経営計画 2028」において重点領域の強化および開発パイプラインの拡充を推進しています。今後も、有望な開発品の導入と自社開発を通じて成長基盤の強化を図り、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

なお、本契約による当社の 2027 年 3 月期の連結業績への影響は軽微です。
今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上

<ご参考>

甲状腺眼症治療薬「MHB018A(開発コード)」について

「MHB018A」は、活動期および慢性期の甲状腺眼症(TED)の治療を目的として Minghui 社が開発した、IGF-1R を標的とするヒト化抗体であり、皮下投与により使用されます。本剤は IGF-1R シグナル伝達を阻害するように設計されており、これまでに実施された臨床試験において、強力な臨床効果と良好な安全性が確認されています。現在、中国およびグローバルで第Ⅲ相臨床試験が進行中です。

甲状腺眼症(TED)について

TED は、甲状腺機能亢進症(バセドウ病)などに関連して発症する自己免疫疾患です。眼窩組織の炎症や線維化により眼球突出、複視、疼痛等が生じ、重症例では視機能障害を引き起こします。日本国内では治療選択肢が限定的であり、アンメットメディカルニーズの高い疾患の一つとされています。

Minghui 社について

Minghui Pharmaceutical は、免疫学、腫瘍学、その他アンメット・メディカル・ニーズ(未充足の医療ニーズ)が高い領域において、革新的な治療法の開発に取り組む、後期開発段階のバイオ医薬品企業です。同社は、開発の各段階にわたる、幅広く差別化された臨床パイプラインを有しており、世界中の患者さんに革新的な医薬品を届けることに尽力しています。

あすか製薬について

(1)名称	あすか製薬株式会社
(2)所在地	東京都港区芝浦二丁目 5 番 1 号
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役社長　山口　惣大
(4)事業内容	医薬品の製造・販売および医療機器や健康食品等の仕入・販売
(5)資本金	1,197 百万円